

2009
10・15
毎月15日発行

月刊んぽは新聞 NPO vol.12

発行元：山形市民活動支援センター指定管理者
NPO法人山形の公益活動を応援する会・アミル（担当：柴田）

この情報紙は、山形市民活動支援センターが発行する月刊紙です。センターの月毎の情報や皆さんからいただいた情報をお伝えしていきます！

市民活動支援センターカレンダー

※○は休館日、☆は、講座・イベント開催日

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	⑫	⑬	14	15	16	★17
18	⑰	★20	21	★22	23	24
25	⑳	27	28	29	30	★31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	②	③	4	5	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	⑰	17	18	19	20	21
22	⑳	㉑	25	26	27	28
29	⑳					



第2弾は、NPOマネジメントについての講座！

イベント予定

マーケティングの手法が学べます！

NPOマネジメント講座 はじめの一步～基本の基本～

最近いろいろな活動をしているNPOがマスコミで取り上げられています。福祉・環境・まちづくり・人権擁護・里山保存など……！NPOのこと勉強してみませんか？

○開催概要

【Ⅱ】NPOのマネジメント（全2回）

- ①NPOのマネジメントとは？
- ②リスクマネジメント

日 時：10月20日（火）・22日（木）
19：00～21：00

講 師：齋藤和人 千川原公彦
（山形市民活動支援センター所長・スタッフ）

○講 師：齋藤和人 山形市民活動支援センター所長

○会 場：

霞城セントラル22階 山形市民活動支援センター会議室B

○受講料：無料

※駐車券の補助がありますので、お車でお越しの方は霞城セントラルパーキングをご利用ください。

【Ⅲ】NPO 総務講座（全3回）を今後開催していきます。

社会事業・非営利事業に取り組む人のためのマーケティング講座

本講座では、大学マーケティングに見識の深い山形大学教授・福島真司氏から社会事業・非営利事業に取り組む人が、常に変化する市場を捉え、自らの理念、社会的使命を実現していくために、事業戦略を効果的に考えることができる力を身につけられるようマーケティングの手法について学びます。ふるってご参加ください。

○開催概要：

第1回 9月26日（土）18：00～20：00

「マーケティング入門」 ※終了しました。

第2回 10月17日（土）18：00～20：00

「社会調査・リサーチの手法」

第3回 10月31日（土）18：00～20：00

「非営利組織のファンドレイジングからマーケティングを学ぶ」
☆第1回目は終了しておりますが、2回目から参加いただけます。

○会 場：

霞城セントラル22階 山形市民活動支援センター 会議室B

○対象・定員：

すでに社会事業・非営利事業に取り組んでいる方、CSR、社会貢献活動など担当している企業の方、これから起業・創業を検討している方 15名先着順

○講 師：

国立大学法人山形大学

エンrollment・マネジメント室 教授 福島真司氏

○参加費：

各回 1,500円（全回参加の場合 4,000円）

※駐車券の補助はございませんので、予めご了承ください。

助成金情報

「平成22年度（第16回）公募助成」（キリン福祉財団）

□受付期間：2009年9月16日（水）～2009年11月9日（月）（当日消印有効）

□対象：象：

地域での子どもに関わる福祉活動を目的とする民間団体で、4名以上のメンバーが中心となって活動する団体・グループ（法人格の有無、活動年数は問いません）。

□対象事業：

「地域における子育てに関わるボランティア活動」に対し助成いたします。“地域”“子育て”“ボランティア”をキーワードとし、地域における、子どもに関わる幅広い活動に対して助成いたします。例として、母親、父親、祖父母、乳幼児、小中高生などに対する活動が対象となります。

□問い合わせ先：財団法人キリン福祉財団（TEL：03-5540-3522）

詳しくは下記のURLから

<http://www.kirin.co.jp/foundation/koubo2010/kobo.html>

「2010年度助成プログラム」（日本財団）

□受付期間：2009年10月1日（木）～2009年10月30日（金）当日消印有効

□対象：象：財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人（特定非営利活動法人）、ボランティア団体など非営利活動・公益事業を行う団体

□対象事業：活動内容

1. 海や船に関する事業

船舶、海運に関する技術の研究・開発と産業の基盤強化、海洋に関する研究及び情報・体制の整備、航行の安全確保及び海上災害対策、海・船に関する国民の理解促進

2. 社会福祉、教育、文化などの事業

障害者や高齢者が自立して暮らす社会を目指して、ひとり一人の尊厳が重んじられる社会を目指して、親子の絆、コミュニティ内の絆が強い社会を目指して、自然と調和し、健康で文化的な生活をしている社会を目指して

□問い合わせ先：日本財団 コールセンター（TEL：03-6229-5111）

詳しくは下記のURLから

http://www.nippon-foundation.or.jp/kyotu_site/zyoseikin/g_bosyu_tuijou.html

おすすめブックナビ



子どもたちに、ほほえみを

編者：

NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド

文：阿蘭ヒサコ、富部志保子

子どもたちを取り巻く現実や子どもたちを支援する人々を描いた物語です。子どもたちの笑顔のため、私に何ができるのか？ 私たちが日々経験している日常のなかでの子どもの問題が描かれています。子どもの育成のために、モバイル・コミュニケーション・ファンドから助成をうけた市民活動団体も紹介しています。子ども問題に関心のある方、子どもを支援する活動をしている方ぜひ、ご一読ください。（担当：寺澤）

センター登録団体の つなぐコラム vol.12

「自然豊か」と称される山形ですが、童謡「ふるさと」の情景を、最近、いつご覧になりましたか？原風景消失の原因のひとつは、地域の産物を地域の人が支えてないことにあるそうですが、日本は里山文化の地ですから、「人と人、人と自然のつながり」を考え、実践しない限り、自然環境は守れないのです。山形も例外ではありませんね。

私の活動バイブルは、レイチャル・カーソン「センス・オブ・ワンダー」です。ここには「感動の分かち合いが心を育てる」と書いて

今回のコラムは・・・

自然体験活動推進協議会山形県連絡会（CONE）

代表 星川 直さん

ホームページはこちら

<http://www.cone.ne.jp/>

てあり、実践の輪を広げるため、平成13年から指導者の育成と活用を目的とした「NPO法人自然体験活動推進協議会（略称CONE、東京新宿区）に参加していますが、いつも里山活用の話で盛り上がっています。

鳩山政権「温室効果ガス1990年比で25%削減」の国際公約って、マスコミ報道のように大変なんでしょうか？私は、それを里山保全に苦悩している人たちを交えて論じたいと思っています。みなさんも、ぜひ、自然の中へ。

山形市市民活動支援センター

■開館時間 9:30～22:00（23階の展示コーナー・学習コーナーは18:00までの開館となっております）■休館日 月曜、祝日（月曜が祝日の場合翌日）、年末年始

■所在地 〒990-8580 山形市城南町1丁目1-1 霞城セントラル22階・23階

■TEL 023-647-2260 ■FAX 023-647-2261

■ホームページ <http://www.yamagata-npo.jp/> ■ブログ <http://blog.yamagata-npo.jp/center/>

■E-mail center@yamagata-npo.jp

★霞城セントラルパーキング・山形駅東口交通センター駐車場をご利用ください。

メールマガジン発刊中！

配信希望の方は、
kanri@yamagata-npo.jp
まで、ご連絡ください！

（印刷と相談の方は1団体2名、2時間までの補助があります。）